

携帯型吸引器「キュータム」大田区に寄贈

日東工器に感謝状

情報

東京・大田区の機械工具メーカー日東工器が7月7日、携帯型吸引器「キュータム」を8台、大田区に寄贈した。同区役所で行われた贈呈式で、日東工器の小形明誠社長が、松原忠義区長から感謝状を授与された。

キュータムは同社の持つポンプ技術を活用して開発、製造された。在宅医療などで、たん吸引が必要な患者に使用されている。重さ1・2kgと軽量で、外出時の携帯にも便利。ACアダプターのみならず、単3乾電池でも駆動するので、屋外、屋内、災害時など状況に応じて電源を選べ

るため、患者と医療従事者に喜ばれている。

松原区長は「人の命を救うのに、なくてはならない製品をいただき、たいへんありがたい。有効に使わせていただきます」と感謝した。区内の障がい者施設で活用される予定という。

日東工器の小形社長は「経営方針が社会への貢献、地域への貢献です。社会から必要とされる企業であり続けたい」と、あいさつした。同社は家庭用エアマッサー器「メドマー」を開発・販売している。東京五輪や19年ラグビーW杯などで、アスリートが使用して「血行が促進される」「疲労回復にいい」と喜んで話題になった。



感謝状を持つ小形社長（左）とキュータムを持つ松原区長

※掲載許諾済